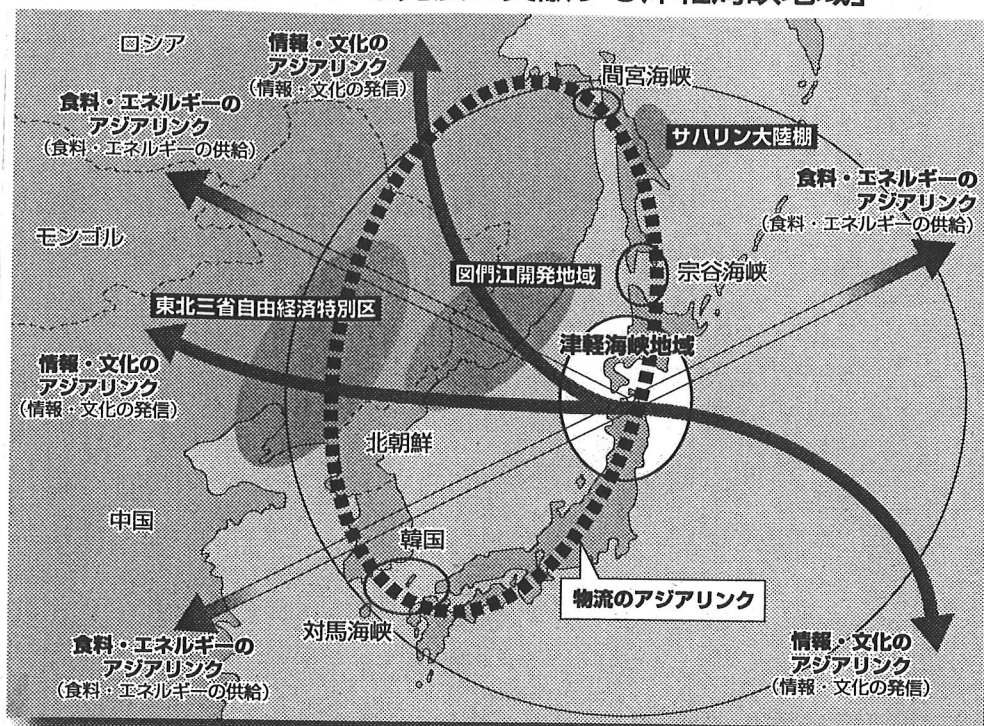


「北東アジアの発展に貢献する津軽海峡地域」



北の時代における国土づくりフォーラム

— 詳細な詳細な情報をめぐって —

※主編：黃國華，以本館力量所及，決非面面俱到或流於瑣碎。 ●編委：以P.O.信箱7772-1-777 敬請賜顧。 ●編輯：黃文華、黃國華



パネリスト

青森県知事

木村守男氏

(株)ザ・アール
代表取締役社長

奥谷禮子氏

三菱商事(株)
取締役副社長

取締役副社長
(情報産業グループCEO)

相原宏徳氏

東京海上研究所
理事長

下河邊 淳氏

コーディネーター
国際日本文化研究センター
教授

川勝平太氏

木村
IT革命では、遠くにいて
も多くの意思決定ができて、

物流のルートがますます効率化するわけでしょう。すると、本州と北海道、環日本海圏

と環太平洋圏を結ぶ節点といふ地理的特性を有する津軽海峡地域は、広く内外の物流基地として着目されるわけですね。

九州・対馬・韓国とを結ぶ横断構想があるようですが、この南のルートに、宗谷海峡と間宮海峡を連絡する道路構想と津軽海峡軸構想との北のルートが実現すれば、日本列島・国際環状ルートが完成し、経済・文化の新しい世界の極となることだって考えられます。

そうすれば、地球規模で物事が向こうの方から動いてくる。豊富な資源や労働力などを有し大きな可能性を秘めているロシア・中国など北東アジアとの物流も促進されるだろうし、津軽海峡地域は二十一世紀の我が国経済をけん引するフロンティアとしての役割を果たしていくことになりま

す。これらの物流の可能性を生かすためにも、津軽海峡大橋の実現が必要です。

